

別記様式2

## 副 専 攻 プ ロ グ ラ ム 説 明 書

開設学部（学科）名〔教育学部(第三類)〕

プログラムの名称	(和文) 中等教育科学（英語）副専攻プログラム
	(英文) Secondary School English Language Education
1. プログラムの紹介と概要	
<p>本プログラムは、中等教育科学（英語）プログラムの担当教員が提供するもので、英語を学び、使い、そして教えることを目指し、英語教育学の原理・方法・内容の全般にわたり、その基礎と基本を学習する。そのためには、学習に対する意欲と主体性と実行力、人間・社会・文化と言語とその関わりへの幅広い興味と関心、英語運用力の育成等が前提となる。</p>	
2. プログラムの到達目標	
<p>本プログラムでは、中等教育（中学校・高等学校）における教員として必要な能力のうち、特に、以下の英語教育に関わる目標を達成するための基礎を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 英語によるコミュニケーション能力を身につける。</li><li>2. 英語教育を、原理・方法・内容等の面から探求し、国際語としての英語や英語文化に関する広く深い認識を基盤として、教育内容や教材の分析・開発を行い、英語授業を、実践的知見を踏まえて、効果的に遂行する。</li></ol>	
3. プログラムの履修時期・要件	
(1) 履修開始時期とプログラム登録時期	
副専攻プログラムの開始時期は、原則として2年次である。履修開始前の登録（事前登録）のみとする。	
(2) プログラム選択のための既修得要件(履修科目名及び単位数等)	
既修得要件は特に設定しない。	
(3) 履修上の注意点	
英語教育原理、英語教育方法、英語教育内容（英語学、英語文学、英語文化等）、及び英語運用力に関わる科目を、それぞれ偏りなく履修すること。また、前提として教養教育における幅広い学習を要望する。	
4. 教育内容・構造	
提供される専門科目から、合計25単位以上を履修すること。 その他構造などについては主専攻プログラムを参照すること。	
5. 授業科目及び授業内容	
授業科目は、別添の履修表を参照すること。 授業内容については、各年度に公開されるシラバスを参照すること。	
6. 評価	
(1) 試験・成績評価	
各授業科目における試験・成績評価基準に基づく。	

(2) 修了判定の基準

「5. 授業科目及び授業内容」に示す授業科目のうち、25単位を修得すること。

7. プログラムの責任体制

中等教育科学（英語）プログラム教員会委員長が、本副専攻プログラムの総括責任者を兼ねるものとする。担当者は、教員会の全員である。

8. プログラムの受入上限数

5名。

9. プログラムの既修得単位等の認定単位数等

(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

(1) (2) を合わせて12単位まで認める。

(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

(1) (2) を合わせて12単位まで認める。

**【副専攻プログラム履修に関する注意事項】**

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

別表

中等教育科学(英語)副専攻プログラム 履修表

科目区分	授業科目	開設 単 位 数	学期別週授業時 数 (履修期)						要 修 得 単 位 数	開設学部	備考	
			3 セ メ	4 セ メ	5 セ メ	6 セ メ	7 セ メ	8 セ メ				
専門 基礎 科目  専門 教育 科目  専門 科目	英語教育学概論 I	2		2					25	教育学部		
	英語教育学概論II	2			2							
	英語学概説 I	2		2								
	英語学概説II	2			2							
	英語文学概説	2	2									主専攻プログラムでは1セメ
	英語コミュニケーション演習 I	2	2									主専攻プログラムでは1セメ
	コミュニケーションライティング I	2			2							
	英語教育方法論	2			2							
	英語教材構成論	2		2								
	英語授業プランニング論	2		2								
	英語ボキャブラリー演習	2	2									
	英語発音演習	2	2									
	英語教師のための音声学	2		2								主専攻プログラムでは2セメ
	英語史	2				2						
	英語教育文法	2				2						
	英語教育教材研究	2			2							
	英語教育のための異文化理解	2				2						
	英語テキスト精読	2		2								主専攻プログラムでは2セメ
	現代社会の英語使用	2					2					
	合計										25	